

恒石小百合先生のプロフィール



一般社団法人「b i k a i」理事長。

STYLE OF GLOBE(株)代表取締役

1995年、フラワーデザインのアトリエを設立。

マンダリンオリエンタル 東京などのウェディング装花、有名海外ブランドのショップディスプレイをはじめ、店舗デザイン、ジュエリーデザインなど、多方面でも活躍。現在は、アーティフィシャルフラワーを使った作品制作の指導者を育成する「オートクチュール・フルール認定講座」にて、カリキュラムデザイナーを務めるほか、自身もその指導にあっている。また、アーティフィシャル専門ブランド“B i s o l e t t a”を立ち上げるなど、アーティフィシャルフラワーの普及にも力を注いでいる。

フラワーデザイナーとしてテレビ番組での講師、雑誌「25ans」「花時計」へ作品を提供など幅広く活躍。

恒石先生は大学卒業後、株式会社ワコールに入社。

社長秘書として勤務し、受付のお花が生けられるよう、フラワーアレンジメント教室に通う。

お花に興味湧き、日曜日や夜にはお花屋さんでアルバイトを始める。

趣味とは思えなくて会社を辞めてそちらの道に進みたいと考えるようになる。

その前に社長から人脈を作ったほうが良いとアドバイスをうけ、商品展示会や会社の受け付けに飾るお花を生けたり、社員向けのフラワーアレンジメント教室を開いたりする。

退社までに雑誌の編集者などを紹介してもらい、人脈を築く。

フラワーショップでのアルバイトでは、生ものを扱うリスクを知り、お客様には既に咲いたお花ではなくつぼみからだんだん開いていくお花を届けたいということで、注文を受けてから届ける形式で原宿にアトリエを開く。(1995年5月)

レストランウェディングでのフラワーアートを届ける仕事で顧客も増えて、1996年10月会社を設立。原宿のアトリエで6年過ごし、2002年に現在の南青山に移転。

